

# パンデミックの未来と核兵器リスク： 人類共通の脅威にどう対処すべきか

2021年5月21日  
公開シンポジウム（オンライン）  
戸田記念国際平和研究所 主任研究員  
河合 公明

## パンデミックが問うていること

—新型コロナウイルス感染症の問題は「安全保障」とは何かについて深く考える機会を提供している—

- あらためて考える（1）
  - ▶ 大切なモノやコトは何か（価値）
    - 安全で、安心して、幸福に暮らすこと
- あらためて考える（2）
  - ▶ 大切な価値どう実現するか（手段/方法）
    - その手段/方法は価値の実現に役立つか
    - その手段/方法によりもたらされるコストは何か
- あらためて考える（3）
  - ▶ 大切な価値を求めるのは誰か
    - 求めるのは一人（e.g. 自分）だけではない
    - 人々は相互に依存している
  - ▶ （1）と（2）と（3）の関係を考える

# パンデミックが与えた気づき

—核兵器の問題と市民社会の役割—

- 安全保障の意味
  - ▶ 安全を保障する = 軍事/兵器 ⇨ 安全を保障する ≠ 軍事/兵器
- 安全保障と核兵器
  - ▶ 核兵器の使用とその結末
    - 相互依存関係が織りなす大きな「システム」へのインパクト
  - ▶ 「核兵器は安全保障のために必要である」という言説
    - 「核兵器は安全を保障するのか」という問い
- 市民社会の役割
  - ▶ 目指すべき社会的価値の提示（社会的ニーズの可視化）
  - ▶ 情報の収集、分析、提供
  - ▶ 活動の場の設定
  - ▶ 市民教育における貢献
  - ▶ 政策形成における貢献

## ありがとうございました

### 参考文献

David Baldwin, “The concept of security,” *Review of International Studies* Vol. 23, No. 1 (1997), pp. 5-26.

Arnold Wolfers, “‘National Security’ as an Ambiguous Symbol,” *Political Science Quarterly* Vo. 67, No. 4 (1952), pp. 481-502.

コヘイン、ロバート；ナイ、ジョセフ（滝田賢治監訳）『パワーと相互依存』（2012年、ミネルヴァ書房）3-50頁。

河合公明「安全保障政策と市民社会：核兵器廃絶日本NGO連絡会を事例として」『NPT発効50年：「核のある世界」に立ち向かう』（長崎大学核兵器廃絶研究センター、2020年）70-74頁。

坂本治也「市民社会論の現在—なぜ市民社会が重要なのか」坂本治也 編『市民社会論：理論と実証の最前線』（法律文化社、2017年）1-18頁。

土山實男『安全保障の国際政治学 焦りと傲り（第2版）』（有斐閣、2014年）73-105頁。